

		至 自						昭	年 月 日	才 三 四 飛 行 場 大 隊  略 歴	(高才九一九四部隊)
18	18	17	17					16			
10	10	9	9	8	8	8	8	3			
23	15	15	10	10	28	26	26	21	31	略 歴	
仏印西貢上陸	緬甸転進のため南支広東省黄港出發	参加	爾後才三飛行師団昭和一七年度後期昭和一八年度前期及中期航空作戦	広東天河飛行場着	大連港出發	大連着	關東州界通過	転進のため杏樹出發	爾後關東軍特別演習参加		
										摘 要	

0053

至自											昭	
22	20		20				20	19			18	
6	9	8	8	7	7	7	5	3	3	12	11	11
5	2	15	14	25	20	15	20	15		10	20	10
<p>           仏 泰 国 境 通            泰 緬 国 境 通 過            緬 甸 国 「シエウエホ」 県 「シエウエボ」 着            爾 後 緬 甸 に 於 て 才 五 飛 行 師 団 友 攻 邀 撃 碎 作 戦 参 加            昭 一 九 ・ 二 ・ 二 二 車 令 陸 甲 才 二 四 号 に 依 り 一 部 の 人 員 資 材 を 才 七 五            飛 行 場 大 隊 に 転 出 し て 編 制 改 正            馬 米 転 進 の た め 緬 甸 国 「ビ ン マ ナ」 県 「ビ ン マ ナ」 出 発            泰 緬 国 境 通 過            馬 泰 国 境 通 過            馬 米 「ネ グ リ セ ン」 「ビ ラ ン」 洲 「ク ア ラ ビ ラ ー」 着            西 馬 米 に 反 攻 邀 撃 作 戦 参 加            停 戦            馬 米 「シ ン ガ ポ ル」 に 於 て 終 戦            主 力 馬 米 「シ ン ガ ポ ル」 港 出 発         </p>												

0054

					昭 22
				8	8
				15	14
				博多港上陸、同日復員	一部馬米「シンガポール」出発
				歴代部隊長	長崎港上陸、同日復員
			初代	少佐	
			二代	少佐	
			三代	大尉	
				川口幸八	
				佐々木信三郎	
				大和勇三	

0055

昭											年 月 日	略 歴	略 歴	摘 要
15	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13				
4	12	9	5	3	12	11	10	8	8	8				
29								30	15	4				
<p>天津に於て編成完結</p> <p>中支転進のため天津出発</p> <p>安慶上陸</p> <p>廬州、六安、光州、信陽飛行場に転進、武漢攻略戦に参加</p> <p>武昌集合</p> <p>南京に於て機種改変及び司偵専修教育参加、飛行場整備並びに警備</p> <p>二套口飛行場に前進、廬山附近の地上作戦直接協力</p> <p>漢口飛行場を使用、地上作戦に直接協力</p> <p>白螺磯飛行場に前進、地上作戦に直接協力</p> <p>武昌飛行場に於て教育訓練並びに警備</p> <p>信陽、安陸、應山、南京、武昌飛行場を使用、宜昌作戦及び地上作戦に直接協力</p>														

0056

16	16	16	16	16	16	16	15	15
12	12	11	10	10	6	2	12	9
下旬	8	12	31	16	21	21	9	2
<p>武昌飛行場を基地とし、南昌、南京、安陸飛行場に前進、地上作戦に直接協力及び漢水作戦に参加</p> <p>武昌飛行場を基地とし、荊門、信陽飛行場を使用、地上作戦に直接協力及び豫南作戦に参加す</p> <p>武昌飛行場を基地とし、抗州、安陸、南昌飛行場に前進し、錦江作戦、宜昌西方討伐作戦、浙東上陸作戦、浙東作戦及び玉山、金華、長沙撃に参加、飛行第七十五戦隊の機種改変に南京に於て参加</p> <p>武昌飛行場を基地とし、荊門、南京、南昌飛行場に前進、地上作戦に直接協力及び一〇二号作戦に参加</p> <p>杭州飛行場に一部を派遣し、地上作戦直接協力</p> <p>南方前進のため先発隊武昌出発、仏印到着間輸送業務</p> <p>主力武昌―南京―泰國「バンドン」間輸送業務</p> <p>主力泰國「バンドン」に敵前上陸、兵舎、無線所、飛行場を占領、確保</p> <p>「スングイダニ」に於て集結完了、(主力)</p>								

0057

19	19	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17
4	4	12	9	2	9	3	3	2	2	1	1
12	10	20	30	18	28	26	21	23	4	22	9
<p>第二次濠北作戦に従事</p> <p>主力「チモール」島「ラウテン」西飛行場に位置し濠北撃滅第一次濠北作戦、</p> <p>軍令陸甲第二四号により編成完結</p> <p>「チモール」島「ラウテン」飛行場にて周辺地区撃滅戦に従事</p> <p>主力「セラム」島「アマハイ」飛行場に前進、同島周辺地区撃滅戦に参加一部</p> <p>軍令陸甲第一九号に依り編成完結</p> <p>主力は「チモール」島「ラウテン」に前進</p> <p>「ジャワ」島「マラン」飛行場に前進、同飛行場に於て周辺地区撃滅戦に参加</p> <p>主力「シンガポール」出港、「ジャワ」島「バタビヤ」上陸</p> <p>「ジャワ」島「バンドン」飛行場に於て占領地の既定作戦並びに警備</p> <p>主力「クアラランブル」飛行場に前進、馬米作戦参加</p> <p>主力「テナグ」飛行場に前進、南部「スマトラ」西部「ジャワ」作戦参加</p> <p>主力「タイピン」飛行場に前進、馬米作戦参加</p> <p>主力「イポー」飛行場に前進、馬米作戦参加</p>											

		21	20	19
		5	8	6
		25	15	12
<p>歴代部隊長</p> <p>初代 少佐 西岡 豊二</p> <p>二代 中佐 高作 栄作</p> <p>三代 少佐 大久保 幸平</p> <p>四代 大尉 安東 義男</p> <p>五代 大尉 松本 新太郎</p> <p>六代 少佐 小林 貞一</p>	<p>名古屋港上陸復員</p> <p>レ」「スンパワ」島「ロボツク」に於て終戦業務</p>	<p>作戦に従事</p> <p>「チモール」島「ラウチン」東飛行場に位置レ、反攻邀撃々碎作戦、勢第三号</p>		

0059

昭										年	月	日
14												
7	6	5	5	5		9	9	9	9	9		
18	20	8	7	7		27	24	23	22	1		
新京出発	応急派兵下令	新京着 原駐地帰還	満支国境山海関通過	北京出発	その後北京に移動	中華民国江蘇省徐州着	満支国境山海関通過	新京出発	応急派兵下令	軍令陸甲第一一七号により新京に於て編成完結	略	歴
											摘	要

才三六飛行場大隊  
 (羽才八三三六部隊)  
 略歴

0060



		至自												
17		16 1414												
1	1	10	10	10		9		7	9 6	9	9	9		
18	10	23	18	7	30	29	30	23	2620	23	22	21	21	
	「シンゴラ」上陸	「マレー」前進のため西貢港出發	仏印西貢出發、同日「コンポントラツシュ」着	仏印西貢上陸	壺芦島港出發	満州国壺芦島着	新京出發	編成完結	臨時編成下令	海拉爾に於て第二次「ノモンハン」事件に従事	新京着	海拉爾出發	「ハイエータ」飛行場出發、同日海拉爾着	興安省將軍爾着

0061

至自 2020	至自 1919		至自 19	1817									
4	2	108	1	125			5		4			3	1
302	301		31	317	8	7	5	16	7	25	20	16	22
<p>「セラランゴール」州「アラランブール」着          転進のため昭南島出発          馬來泰國境通過          「ランバートン」着          満州転進のため「ランバートン」出発          磐谷出発          大連港上陸          關東州界通過          新京着          新京に在りて外国鎮成に従事          昭一八、一二、二七、軍令陸甲第一二〇号により一部の人員、資材を飛行          第一五戦隊、独立飛行第五五中隊に転出して編成改正          一部奉天北飛行場に派遣          一部公嶺子に派遣</p>													

0062

			20
		8 8 8	
		20 14 10	
		主力新京において武装解除	対「ソ」対空戦に参加
		停戦	

0063

												昭
												14
												16
19	18	17							16	14	年	
6	6	5	9	10	10	10	8	7	7	7	7	月
16	13	12	5	12	7	6	2	18	17	15	14	日
<p>東京城出發、鮮滿国境図們通過</p> <p>勳員完結</p> <p>勳員下令</p> <p>東京城移駐</p> <p>佳木斯移駐</p> <p>延吉移駐</p> <p>海浪出發</p> <p>溫春出發、海浪着</p> <p>牡丹江省溫春着</p> <p>鮮滿国境図們通過</p> <p>平壤出發</p> <p>朝鮮平壤にて編成完結</p>												略
												歴
												摘要

才三七飛行場大隊  
 (才九一〇部隊)  
 略歴

0064

					20		19		
					9	8	8	7	6
					2	10	4	3	19
					<p>釜山出帆 釜山着</p> <p>「ミンダナオ」島「カガヤン」上陸</p> <p>「マライバライ」飛行場展開</p> <p>終戦に伴い戦闘行動停止午後生存者は所在地点において武装解除を続けた後米軍収容所に入る</p>				

0065

昭									年 月 日	第三八飛行場大隊 (第八三〇八部隊)	略  略  略
18	18	17	17	17	16	16	16	16			
5	4	10	9	9	8	8	8	7			
20	5	2	10	9	20	16	10	26			
飛行場に在りて「パンダ」海周辺地区撃滅戦に第一次濠洲進攻作戦に参加 「アンボン」島「アンボン」上陸、「リアン」飛行場及びセラム島「アマハイ」 「スラバヤ」港出帆 「ジャワ」島「タンジヨンブリオク」港上陸「カリヂヤチ」飛行場に在りて「ジャ ワ」島及び「スマトラ」島周辺地区撃滅戦に参加 「スラバヤ」港出帆 「アンボン」島「アンボン」上陸、「リアン」飛行場及びセラム島「アマハイ」 飛行場に在りて「パンダ」海周辺地区撃滅戦に第一次濠洲進攻作戦に参加									静岡県浜松飛行第七戦隊に於て編成完結 大阪港出帆 大連港上陸、同日関東州通過 満州国公主嶺到着関東特演参加 南方方面転進のため公主嶺出發同日関東州界通過 大連港出帆	略	歴

0066

21	21	20	20	19	19	19	19	19	18	18	
6	6	9	9	12	7	4	4	4	9	7	
17	3	2	2	1	1	25	21	13	2	22	
名古屋港上陸	復員のため「サルミ」出発	軍収容所に入る	停戦に伴ひ戦斗行動停止爾後生存者は所在の地点に於て武装解除された後米	「ニューギニヤ」に於て終戦	第三六師団（雪兵団）長の隷下に入る	「サルミ」到着、「サルミ」守備に任ず	「サルミ」へ転進の命下り、「ポールランヂア」出発	「ポールランヂア」周辺に敵上陸同地に於ける航空作戦及び地上戦斗に参加	昭和一九、二、二二軍令陸甲第二四号に依り一部の人員、資材を第七〇飛大に	「ポールランヂア」に在りて東部「ニューギニヤ」航空作戦に参加	南東方面転進のため「アンボン」港出帆

0067

348~2

	21
	6
	18
	復員

0068



昭									年 月 日	第三九飛行場大隊 (羽第九一六四部隊)  略  略  歴
17	17	16	16	16	16	16	15			
3	3	11	11	同	9	7	7	6		
31	25	5	4	日	29	30	25	13		
編成改正完結 昭一七年軍令陸甲第一九号により編成改正着手 午後同地附近の警備 温春着 杏樹出発 同日杏樹着 温春移駐のため佳木斯出発 満州三江省佳木斯において編成改正完結 臨時編成改正(甲)下令 現在第三九飛行場大隊は満州牡丹江省温春に在り									略	歴
									摘	要

0069

20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	18	18
8	8	8	3	3	3	2	2		10	10	10	12	10
21	15	13	7	6	6	20	19		22	20	17	13	8
沙河 集結	鏡泊湖着	通化転進命令により温春出發	温春着原隊復帰	鮮満国境 通過	朝鮮展開部隊原隊復帰のため羅津出發	朝鮮羅津着	一部朝鮮展開のため温春出發	(約)一ヶ月にして温春原隊に復帰す。行動不明	北支山東省済南着	満支国境山海関通過	一部北支那派遣のため温春出發	東盛湧 展開部隊温春原隊復帰	一部間島省東盛湧に展開

0070

349の2

	20
	8
	25
	教化において武装解除

0071

昭									年 月 日	才四〇飛行場大隊 (羽才九六二六部隊)	略 歴
16	16	16	14	14	14	14	13	13			
11	10	7	10	10	10	10	12				
5	31	30	28	25	25	20	31		略	歴	摘要
編成完結(編成地名及び編成月日不明) 現在南京 爾後南京において航空作戦(支那事変)に参加 満州移駐のため南京出発 大連港上陸 関東州界通過 満州龍江省龍鎮着 陸後同地において作戦(関特演)参加 編成改正完結 南方転進のための龍鎮出発 関東州界通過											

0072

17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	
8	7	4	4	3	3	12	12	11	11	11	11	
16	27	10	2	31	27	14	13	26	25	23	5	
大連港上陸	満州移駐のため「ラングーン」出発	爾後同地において作戦参加	「ラングーン」着	昭南着 昭南出発	泰「マレー」国境通過	爾後同地において作戦参加	「ドムアン」着	泰仏国境通過	「シエムレア」着	西貢出発	仏印西貢着	大連港出発

0073

20	19	19	19	18	18	17	17	17	17
8	6	8	1	8	8	10	10	8	8
9	3	2	31	30	27	21	19	20	17
<p>「エ」号体成下令</p> <p>黒河省 瑗理県山神府着</p> <p>作戦飛行場整備のため一部人員嫩江出發</p> <p>大隊に転出し編成改正完結</p> <p>昭一八、一二、二七軍令陸中第一二〇号により一部人員資料を第九飛行場</p> <p>爾後同地において作戦参加</p> <p>黒河省嫩江着</p> <p>移駐のため東京城出發</p> <p>爾後同地において作戦参加</p> <p>牡丹江省 東京城着</p> <p>移駐のため能鎮出發</p> <p>爾後同地において作戦参加</p> <p>満州龍江省能鎮着</p> <p>大連出發同日隕東州界通過</p>									

	20	20	20
	8	8	8
	21	15	12
	主力「チンハル」において武装解除	移動中停戦	作命により嫩江出發（一部残存）

0075

											年月日		略	略	略	略	略	略	略	略																										
											自	至																																		
18	18	18	17	17	17	17	16	16	16	16	15	7	2	1	9	4	3	3	12	12	10	10	4	9	11	30	23	2	27	20	8	8	5	2	29	「チモール」島「ラウテン」出港	「チモール」島「ラウテン」上陸	「ジャワ」島スラバヤ出港	「ジャワ」島「マラン」転進	「ジャワ」島「バンドン」集結	「ジャワ」島「ジャカルタ」上陸	昭南港出帆	泰国「マライ」国境通過	泰国「ナコーン」に敵前上陸	漢口出帆	中支漢口に在りて要地防空及び地上作戦協力
													摘要																																	

第四飛行場大隊

(輝第九八六六部隊)

略歴

0076



21	21	21	20	20	19	18	18	18	18	18	18	
1	1	1	9	9	12	11	9	8	8	7	7	
29	24	16	2	2	7	1	2	27	1	25	17	
復員	浦賀上陸	「ニューギニヤ」島「ウエワク」出発	收容所に入る	停戦に伴い戦斗行動停止爾后生存者は所在の地点に於て武装解除された後米軍	「ニューギニヤ」に於て終戦	第十八軍司令官の隷下に入る	「ニューギニヤ」島「ブーツ」に転進	「ニューギニヤ」島「ウエワク」上陸	「コロール」島出発	「バラオ」諸島「コロール」島上陸	「ジャワ」島「スラバヤ」出港	「ジャワ」島「スラバヤ」上陸

0077

昭 19													年	月	日	才 四 四 飛行場 大隊 (球才一六六四四部隊)	略 歴	
7	7	7	7	6	6	6	6	4	4	3	3	略						歴
27	22	12	8	24	21	17	14	15	13	31	25							
<p>軍令陸甲第二四号により臨時編成下令                      満州国三江省竹簾において編成完結                      移駐のため竹簾出發                      孫家到着                      「か」号演習参加のため孫家出發                      鮮満国境安東通過                      釜山港出發、同日第二航空軍の隷下を脱し第四飛行師団の隷下に入る                      門司港上陸                      門司港出發                      第四飛行師団の隷下を脱し第三二軍の隷下に入る                      那覇上陸                      沖繩、中頭郡北谷村屋良に到着</p>													略	歴				
													摘	要				

0078

		至自					
		20	2020			19	
	9	4	4	4	4	3 3	10 8
	2	12	4	3	1	2925	15 1
	<p>第五〇飛行場大隊安田隊より飛行場を申受け任務遂行  台湾沖航空作戦に参加  特攻機に対する協力  御殿敷において中飛行場に斬込  倉敷において戦斗参加  以降石川山附近の戦斗に参加  以降納山護郷隊と協力遊撃戦に入る  終戦に伴い戦斗行動を停止爾後生存者は所在の地点で武装解除されたの  ち米軍収容所に入る</p>						

0079

昭 19										年 月 日	才 四 五 飛 行 場 大 隊  (羽才一六八部隊)  略 歴
20											
8	8	8	8	7	5	5	3			3	
24	20	15	14	30	16	15	31			25	
<p>通化において武装解除</p> <p>主力延吉より通化に集結</p> <p>停戦</p> <p>一部延吉より通化に移動</p> <p>図們、簡川、朝陽川に夫々一部の派遣隊を派遣防衛警備</p> <p>主力(警備中隊を除く)延吉移動</p> <p>富錦着同日より同地附近の警備</p> <p>移駐のため蒙古力出発</p> <p>蒙古力において編成完結</p> <p>飛行場大隊より転入し編成着手</p>										略 歴	
										摘 要	

0080

										年 月 日	才四六飛行場大隊 (富才九一四八部隊)	略 歴																																	
18					17								16					14																											
2	2	同	11	10	10	8	7	6	3				21	20	日	1	30	28	1	30	28	3																							
鮮満国境安東通過										編成年月日、軍令着手編成地名、不明										略	歴																								
南方転進のため主力綏化出發					北安省綏化到着					綏化移駐のため主力佳木斯出發					佳木斯到着							任務終了原隊復帰のため同江出發					三江省同江到着					一部同江派遣のため佳木斯出發					関特演臨時編成下令					現在、満州、三江省佳木斯			
																				昭一四、二、二八 付転属者あり																									

0081

									18
	22			21	20	19			3
	9	9	3	2	8	3	同	3	3
	18	5	4	20	18	25	日	27	1
	<p>釜山港出発</p> <p>スマトラ島東海岸州ベラワン港上陸</p> <p>メダン到着</p> <p>(爾後、部隊本部をメダンに置きスマトラ島各地に展開す)</p> <p>昭一九、二、二二付軍令陸甲第二四号により(一部人員資材を飛行第五八戦隊及び第八九飛行場大隊に転出し)編成改正</p> <p>停戦</p> <p>移駐のためスマトラ島ベラワン港出発</p> <p>マライ、シヨホール州バトバ港上陸</p> <p>シンガポール到着</p> <p>作業隊編成</p> <p>シンガポール出発</p> <p>佐世保港上陸帰還</p> <p>部隊長</p> <p>少佐 八丁 夫(昭18、2、1以降)</p>								

0082

		至 自					至 自					昭	年 月 日	第四七飛行場大隊  (洋第九六〇七部隊)	略  略  歴						
		17	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16									
		12	12	12	2	2	2	10	10	10	9	3									
		29	12	6	5	22	18	12	12	20	20	10	30	1							
		釜山港出発		白城子出発		嫩江白城子に在りて北辺鎮護		大連港に上陸		南支黄埔出発		南支広東に在りて昆明作戦、香港作戦に参加		南支黄埔上陸		湖壺島出発		嫩江出発		北滿嫩江に於いて臨時編成	
		「ニューブリテン」島「ラバール」上陸																			
													摘要								

0083

				至	自			至	自	至	自	至	自	至	自		至	自
21	21	21	20	20	21	20	20	20	20	20	19	19	19	18	18	18	18	17
2	1	1	12	11	1	9	9	8	2	2	9	8	4	3	5	5	4	4
20	24	16	10	26	16	29	28	16	23	22	1	20	1	30	10	1	14	13
復員	浦賀上陸	第二次「ウエクワク」出発	大竹上陸。復員	第一次「ウエワク」出発	自活及乗船待機	「ムツシュ」島集結	「ブイツ」地区及び山南戦斗に参加	「ブイツ」地区海岸警備	「アイタベ」作戦参加	「ブイツ」東西に展開第一八軍直協作戦に参加	「バラオ」經由「ウエワク」上陸	「ラバール」出帆	「ラバール」南方に展開「ケ」号作戦「ワウ」攻撃に参加					

0084



						年 月 日	才 四 八 飛 行 場 大 隊  ( 洋 才 九 六 四 四 部 隊 )	略 歴	
18	17				昭 16				
4	1	12	10	9	7				
						3	16	28	28
編成年月、編成地名、軍令番号不明  現在部隊の所在地満州龍江省衛門屯 南方転進のため衛門屯出發 台湾高雄港上陸 台湾高雄港出發 三ヶ梯団に分離 比島「ルソン」島上陸、比島攻略戦に参加 「マニラ」入城、爾後「マニラ」北及び東飛行場に在りて作戦参加 転進のため、四梯団に分ち、「マニラ」港出發、第五飛行師団の隷下に 入る									
								部隊留守名簿に 昭一三、九、一付 転入者あり	

0085

20	19	18
4 8	3 同 6 5 5	4
15 5	20 日 9	
<p>爾後生存者は第八方面軍隷下各部隊に転属せしむ</p> <p>第四八飛行場大隊現地復帰</p> <p>第二五飛行場中隊より人員一二二名を転入す</p>	<p>第六飛行師団復帰に伴い、第四航空軍の隷下に入り、作戦中なりしも連絡極絶のため、在「ラバウル」航空部隊（地上を併せ）は第八方面軍の隷下に入る</p> <p>昭一九、二、二二軍令陸甲第二四号により一部人員を飛行第一〇戦隊に転出、編成改正</p> <p>「ニューギニヤ」島「ブーツ」到着</p>	<p>「バラオ」港上陸</p> <p>「バラオ」港出発</p> <p>「ニューブリテン」島「ラバウル」港上陸、第六飛行師団の隷下に入る</p> <p>一部転進のため「ラバウル」出発（飛行機）</p>

0086

昭 18	年 月 日	第四九飛行場大隊 (箇第一九三三六部隊) 略 歴	1	5	27	31	10	11	12	13	18
3	3		1	3	1	3	3	3	3	3	4
略	歴		第四九飛行場大隊臨時編成下令 樺太、大谷編成完結 昭和一八年軍令陸甲第一二一號及び陸軍機密第五一三號に依り第四九飛行場大隊編制改正下令一部の人員資材を飛行第三戰隊に轉出し 編成完結 千島派遣のため大谷出發 大泊港出發 小樽港上陸 小樽港出發 占守島長崎港上陸 三好野到着								
摘要											

0087

	” ”	20
	” 8	8
	23	15
	入ソ	三好野飛行場において武装解除 停戦

0088

至自											昭	年月日	第五〇飛行場大隊 (球第一六六五〇部隊)	略歴	略歴	摘要	
20											19						
3	10	10	4	4	4	同	4	4	同	3	3						
23	14	10	28	27	22	日	9	4	日	31	25	編成着手	略	略	略	略	略
同日より沖繩作戦に参加											編成着手	略	略	略	略	略	略
一〇、一〇南西空襲時の対空戦斗並びに台湾沖航空作戦参加											東安省勃利県青山堡に於て編成完結	略	略	略	略	略	略
伊江島着、同日より同地にありて飛行場設置並びに警備勤務に従事											第二飛行師団長の隷下を脱し第二航空軍司令官の隷下に入る	略	略	略	略	略	略
那覇上陸											移駐のため青山堡出發	略	略	略	略	略	略
那覇出發											釜山港出發	略	略	略	略	略	略
第二航空軍司令官の隷下を脱し第三二軍司令官の隷下に入る											略	略	略	略	略	略	略

0089

	20	20	20	20	20
	12	12	12	9	9
	10	8	7	2	2
	鹿兒島港上陸、復員	右仁屋港出発	復員下令	收容所に入る	沖繩「伊江島」に於て終戦 停戦に伴い戦斗行動停止爾後生存者は所在の地点に於て武装解除された後米軍

0090

昭	年	月	日	略	歴	摘要
13	8	1	年月日不明	満州浜江省「ハルビン」に於て編成完結		
17	7	7	7	龍江省「ハイラル」に移駐		
17	7	7	7	南方転進のため、「ハイラル」出発		
17	9	10	9	南支広東上陸、同地に於て作戦参加		
17	9	10	9	広東出発		
18	5	10	10	「スマトラ」島「バレンバン」上陸		
18	5	10	10	同地に於て作戦参加		
18	5	10	10	「バレンバン」出発		
18	6	10	10	「ニューギニア」島「ブーツ」上陸		
18	6	10	10	同地に於て作戦参加		
19	10	30	30	「ウエワック」に移駐		
19	10	30	30	昭一九、二、二二軍令陸甲第二四号により一部人員を飛行第六三戦隊に		
19	10	30	30	転出、編成改正		

0091

	21	21	20	19
	1	1	9	4
	17			
	大竹港上陸帰還	「ムツシュ」島出発	生存者は「ムツシュ」島に集結	「サルミ」に転進開始 転進中部隊は殆んど全滅的損害を受け、停戦となる

0032



						年 月 日	第五二飛行場大隊 (高第九六一四部隊)  略  略  歴
20	20	19	19	17	17	昭 17	
5	2	4	3	9	9	昭 9	
12	25	30	17	20	20	昭 20	
<p>昭和一七、九、八軍令陸甲第七五号に依り飛行第五〇戦隊飛行場大隊を基幹としてビルマ国「ミンガラドン」に於て編成</p> <p>第五飛行師団の実施せる印緬国境周辺地区航空撃滅戦並びに地上作戦に参加し主として第四、第七飛行団の根拠飛行場として協力</p> <p>「メイクテイラ」航空大要塞の飛行場大隊として展開</p> <p>昭和一九、二、二二軍令陸甲第二四号に依り一部の人員資材を飛行第五〇戦隊に轉出し緬甸国「メイクテイラ」に於て編制改正(本部一、警備中隊一、補給中隊一)を編成す</p> <p>「イラワジ」会戦に伴う「メイクテイラ」附近地上戦斗参加</p> <p>第五飛行師団航空基地の交換にあたり佛印「バクセ」(主力)一部「チェンボン」及び「ストントレン」に派遣展開</p>						略	歴
						摘 要	

0093

			21	21	21	20
			5	4	4	12
			3	24	7	9
			大竹港上陸復員	乗船	聖雀集結	西貢に転進し連合軍労務従事
		部隊長				
		初代	小佐	徳	永	恒
		二代	小佐	野間口	政	徳
		三代	大尉	橋本	政	雄

0094

至自					至自	至自	昭	年 月 日	才五三飛行場大隊  (羽才九一四九部隊)	略	略	略
2019	19	19	18	18	1818	1818	16					
5 6	12	1	12	11	11 9	10 1	7					
7 2	24		28	3	2 28	20 4	30	略	略	略	略	
<p>編成地域で編成年月日明確でないが昭一三年九月頃満州において編成                  満州杏樹に於て編成改正完結爾後同地附近の警備に任ず                  満州国東安省宝清に在りて飛行場警戒勤務に任ず                  陣地構築のため東安省密山に出陣原隊に復帰                  満州勃利に展開                  原隊 復帰                  昭一八、一二、二七軍令陸中第一二〇号により一部の人員資材を夫々飛行                  第三二戦隊、第三二飛行場大隊に転出し編成改正                  一部警備要員として吉興鎮飛行場に分遣                  (小隊長 山川見士以下一〇数名)                  一部東安省三道江飛行場派遣警戒勤務に服す</p>								略	略	略		
								摘要				

0095

	20	20	20
	8	8	8
	20	17	11
<p>部隊長 少佐 前田豊作</p>	<p>「ハルビン」孫家に於て武装解除</p>	<p>夫々の派(分)遣隊は本隊に復帰</p>	<p>「ソ」連参戦のため移動杏樹出発「ハルビン」に向ふ</p>

0096

				昭	年 月 日	略 歴	摘 要
				18			
				11			
	20		19	2	1	才五 四飛行場大隊  (羽才一六六一四部隊)  略歴	
	8	6	10	29	1		
	25	17	1				
少佐	部隊長					昭一八、七、二一軍令陸甲第七一号により満州間島省間島において第四〇及び第九三飛行場大隊人員資材を基幹として臨時編成完結爾後同地竝にその附近に展開任務遂行	
石野						昭一八、一二、二七軍令陸甲第一二〇号により一部人員を飛行第四八戦隊に転出編成改正	
浅一郎						主力吉林省敦化に移駐	
						主力吉林省沙河沿に移駐	
						主力敦化において武装解除	

0097

									昭	年 月 日	第五飛行場大隊 (鎗第一九三三七部隊)	略 歴
									18			
									3			
9	8	5	5	5	7	7	7		5		昭和一八、一二、二七、軍令陸甲第一二二号に依り一部の人員資材を飛行第 中隊に轉出し帯広に於て編成完結	
13	15	14	11	8	13	10	4					
復員	警備勤務解除	室蘭着、同日より直接警備勤務に従事す	小樽港上陸	柏原出発	幌筵島柏原上陸	小樽出発	帯広出発					
										摘要		

0098

											昭 16	年 月 日	略 歴	摘 要	
8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	3				
24	22	21	20	19	18	30	28	9	8	7	1				
満支国境山海関通過	鮮満国境安東通過	北支派遣のため咸興出發	咸興着	鮮満国境図們通過	原駐地帰還のため牡丹江出發	編成完結	臨時編成(甲)下令	牡丹江着	鮮満国境図們通過	咸興特演のため咸興出發	昭和一六、七、二五軍令陸甲第二五号により朝鮮咸興において編成完結				

才五六飛行場大隊  
 (球才九一七三部隊)  
 略歴

0099

	至自					至自					至自			
	19					17	1716							
6	2	10	10	8	7	7	7 8	10	10	10 9	9	9	9 8	
15	29	21	20	5	31	29	3124	21	9	818	17	2	125	
南方派遣のため海林出発	々飛行第二九戦隊、独立飛行第六六中隊に転出し編成改正	昭和一八、一二、二七軍令陸甲第一二〇号により一部の人員、資材を夫	牡丹江省寧安県海林着	八面通出発	満州八面通着	満支国境山海関通過	太原出発	大東亜戦役支那方面勤務に従事	北支太原着	白螺磯出発	第一一軍長沙作戦に参加	中支白螺磯着	石門出発	晋察冀辺区肅正作戦に参加

0100



	20	20							
9	4	3		7	7	7	6	6	6
2	1	31		28	22	9	24	22	16
<p>鮮満国境図們通過</p> <p>釜山港出發</p> <p>門司港上陸</p> <p>門司港出發</p> <p>沖繩県那覇上陸</p> <p>中頭郡誑谷山村着</p> <p>爾後誑谷山北飛行場に於て台湾沖航空戦に参加</p> <p>特編第一連隊に編入せらる</p> <p>敵上陸と同時に戦闘を開始し、同日夕刻迄に約半数以上の戦死者を出し</p> <p>それ以降国頭に在りて遊撃戦を実施</p> <p>終戦に伴い戦闘行動を停止し、爾後生存者は所在の地点に於て武装解除</p> <p>された後米軍の收容所に入る</p>									

0101